

2018年度「美術の学校」 舞踊する美術 バレエの世界



美術の学校
2019.2.17(日)

美術技術講座
わたしの・ぼくの家の旗をつくらう!
2019.3.16(土) 10:00-12:00/14:00-16:00

20th Anniversary
一宮市三岸節子記念美術館
〒494-0007 愛知県一宮市信小島字郷南3147-1 TEL 0586-63-2892

2019年2月17日(日)

第1部 13時-15時

第2部 14時-16時

※第1部・第2部とも内容は同じです。
※当日 12:30-13:30、15:00-16:00の
常設展示室・土蔵展示室への入場は、
チケット持参の方のみに限ります。

定員 各回50名

※全席指定(チケットを入手した順に通番)

料金 一般1,000/高大500/小中250

※友の会会員は20%割引
※当日に限り、当チケットで特別展・コレク
ション展(常設展)の観覧も可能

チケット 1月8日(火)より当館にて販売、
電話による取り置きも可能

※電話取り置きの場合、座席番号はチケット
を受け取った順となります。

会場 一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 一宮市小信小島字郷南 3147-1
TEL 0586-63-2892 FAX 0586-63-2893

当館で毎年開催する、美術史の専門家等を講師に招聘し、古今東西の美術の歴史を伝える教養講座「美術の学校」。

今年度は2017年に三岸節子作《貝谷八百子氏肖像画》を収蔵したことを記念し、貝谷バレエ団の全面協力のもと、バレエ評論の第一人者からバレエの歴史や美術的見地による意義、鑑賞方法などを学びます。

また、常設展示室において、貝谷バレエ団創立者である八百子の肖像画の前で、チェロの調べにあわせてバレエ団の若きバレリーナが演舞を披露します。

あわせて、バレエ衣装の展示や貝谷八百子主演「ロミオとジュリエット」の上映も行います。

貝谷 八百子 かいたに やおこ (1921-1991)

バレリーナ・振付家/1921(大正10)年 福岡県大牟田市生まれ
1934(昭和9)年、13歳で“日本バレエの母” エリアナ・パブロバに師事し、1938(昭和13)年、17歳で歌舞伎座で舞台デビューを飾り、東京都世田谷区松原に貝谷八百子バレエ研究所、後の貝谷バレエ団を設立。終戦の翌1946(昭和21)年、焦土と化した東京で『白鳥の湖』全幕日本公演を行い、その後も数多くの本邦初演の全幕バレエ(51年『シンデレラ』、53年『くるみ割り人形』、56年『ロミオとジュリエット』など)を行うなど、日本バレエをリードする存在となる。1957年『週刊朝日』の企画で三岸節子が肖像画を描き、表紙を飾る。1984年紫綬褒章授章。



《貝谷八百子氏肖像画》
1957年 ©MIGISHI



中野区鷺宮のアトリエにて
貝谷(奥)と節子(1957)

◆ 教養講座「美の視点から見るバレエ」(1階 講義室)

美術的視点から見たバレエの意義と鑑賞方法、衣装デザインの魅力、貝谷八百子のバレエ人生とその時代背景などについて、バレエ評論の第一人者から学びます。

時間：14時～15時(第1部、第2部共通)

講師：山野 博大(やまのはくだい、バレエ評論家)



1964年慶應義塾大学法学部法律学科卒。在学中より舞踊評論を専門誌に書きはじめ、現在我が国のバレエ評論の第一線で活躍中。観た公演はすでに軽く一万を超える。舞踊評論を書くかたわら、これまでに文化勲章、文化功労者、橘秋子賞、服部智恵子賞、朝日舞台芸術賞、ニムラ舞踊賞等の選考をはじめ、日本各地の舞踊コンクールの審査、文化庁芸術祭執行委員会、日本芸術文化振興基金の委員を歴任、日本の舞踊界の発展に努める。2006年長年にわたる舞踊評論活動により文化庁長官表彰を受ける。2018年文化庁創立50周年記念表彰被表彰者。

◆ チェロとバレエのコラボレーション(1階 常設展示室)

常設展示室(三岸節子作品展示室)において、《貝谷八百子氏肖像画》の前で、チェロの調べにあわせて貝谷バレエ団の若きバレリーナが演舞を披露します。

※チェロ独奏(節子が好んだバッハ「無伴奏チェロ組曲」を中心に約20分)ののち、フィナーレ(ショパン「レ・シルフィード」のうち「プレリュード」)にバレリーナが登場(約5分)

時間：第1部 13時～13時30分

第2部 15時30分～16時

出演：佐藤 光(チェリスト)



福島県福島市出身、名古屋市在住。15歳よりチェロを始める。県立福島高校を卒業後、愛知県立芸術大学に入学。同大学院弦楽器専攻を修了。2014年には世界的ヴォーカルユニット「Il Divo」の日本ツアーに、スペシャル・オーケストラの一員として参加、共演した。これまでプロ・オーケストラや室内楽演奏会への客演などに加え、自主企画による様々な形態での公演も多数開催し、解説を交えた親しみやすい音楽会として多くの聴衆に受け入れられている。このほかにも東海地方を中心にジャンルにとらわれないチェロ奏者として活躍している。チェロを天野武子・金谷昌治・L.カンタの各氏に、室内楽を百武由紀、C.ルローン、D.ノーランの各氏に師事。

松島 遥香(バレリーナ、貝谷バレエ団所属)



1993年9月11日生まれ。名古屋在住。椛山女学園大学心理学部卒業。3歳より貝谷バレエ小浜研究所にてバレエを始める。東京、名古屋、小浜で様々な舞台に参加、レ・シルフィードの主役やコッペリア等、数多くの役を踊る。国内のバレエコンクールに参加し入賞。貝谷バレエ団理事・大竹みかに師事。

◆ バレエ衣装展示(1階 エントランスロビー)

◆ 貝谷八百子主演「ロミオとジュリエット」上映(1階 講義室)

【同時開催】

● コレクション展(常設展)「春を祝う」1月16日(水) - 4月7日(日)

夏から冬、そして春。三岸節子は移ろいゆく季節の中、作品を描きました。冬の風景画から鮮やかに咲き誇る花の絵までを並べ、春の訪れを祝います。

● 開館20周年記念特別展「美人画 培広庵コレクション展」1月19日(土) - 3月3日(日)

日本有数の美人画コレクター・培広庵が所蔵する作品により、鍋木清方、上村松園をはじめ、明治から昭和期にかけて描かれた珠玉の美人画をご紹介します。



一宮市三岸節子記念美術館 <http://s-migishi.com>

〒494-0007 一宮市小信中島字郷南 3147-1 (担当：長岡)

TEL: 0586-63-2892 FAX: 0586-63-2893

MAIL: nagaoka.masaocm9k@city.ichinomiya.lg.jp